

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 8 月 ～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成19年度 全国高等学校総合体育大会 バスケットボール女子	第2位	H19.8.3	岐阜女子高		岐阜女子高は粘り強いディフェンスとスピードのあるオフェンスを武器に、準決勝では選抜優勝大会で決勝で敗れた中村学園女高(福岡)に競り勝ち、王者桜花学園高(愛知)との決勝になった。善戦したが、高さのある相手に徐々に離され選抜優勝大会に続き、2大会連続の2位となった。高校総体バスケットボールでの県勢の決勝進出は初。 (佐賀県唐津市：唐津市文化会館)
レスリング 団体	第3位	H19.8.3	岐南工高		岐南工高は2年生桑木選手の果敢な攻めから主導権を握り、3回戦・4回戦と接戦を制し、準決勝で優勝候補の秋田商高(秋田)と対戦した。昨年の雪辱を期したが、惜敗し3年連続の3位となった。 (佐賀県佐賀市：諸富文化体育館)
レスリング 個人84kg級	第1位	H19.8.5	山口 剛 (中津商高3年)		選抜大会優勝の山口選手は2大会連続優勝を目指し、準々決勝まで危なげない試合運びで勝ち進んだ。準決勝で森岡選手(鹿島実高：佐賀)を2-1で下し、決勝ではライバルの山下選手(修善寺工高：静岡)を2-0で破って見事優勝の栄冠を手にした。 (同上)
テニス 男子シングルス	第3位	H19.8.4	鷓飼 元一 (恵那農高3年)		準々決勝で広田選手(龍谷高：佐賀)を接戦で破り、ベスト4に進出した鷓飼選手は、準決勝では井上選手(湘南工大付高：神奈川)と戦った。劣勢をよく挽回したが及ばず3位となった。 (佐賀県佐賀市：佐賀県総合運動場庭球場他)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
フェンシング 男子サーブル	第1位	H19.8.10	水谷 一貴 (大垣南高2年)		水谷選手は予選リーグを全勝で勝ち抜き、予選トーナメント2回戦で深谷選手(愛工大名電高:愛知)と熱戦を演じ決勝トーナメントに駒を進めた。順調に勝ち進んだが、決勝では鏡原選手(三本松高:香川)に8 - 14と追い詰められたが、驚異の反撃をみせ、劇的な逆転優勝を手にした。(佐賀県嬉野市:嬉野市体育館)
柔道 男子個人90kg級	第3位	H19.8.10	藤原 良次 (大垣日大高3年)		藤原選手は、3回戦・準々決勝と延長戦を制し勝ち上がった。準決勝では江原選手(埼玉栄高:埼玉)の猛攻によく耐えたが、有効を奪われ惜しくも3位となった。(佐賀県三養基郡:基山町総合体育館)
柔道 女子個人48kg級	第3位	H19.8.11	小泉 友香理 (鷺谷高3年)		2回戦・3回戦と得意の内股で勝利を収めて波に乗る小泉選手は、準々決勝で小林選手(松商学園高:長野)にも優勢勝ちを収めた。準決勝は昨年度優勝の浅香選手(藤村女高:東京)に敗れ3位となった。(同上)
自転車 4000m団体追い抜き	第1位	H19.8.11	岐南工高 { 岡崎、高橋、 加藤、吉田		予選をトップタイムで通過し決勝を決め、決勝は強豪の榛生昇陽高(奈良)との一騎打ちとなった。ほとんど同時のゴールとなったが、0.15秒差の4分31秒515で競り勝ち見事2年連続14度目の優勝を飾った。(佐賀県武雄市:武雄競輪場)
自転車 ポイントレース	第2位	H19.8.11	山内 康平 (岐南工高3年)		予選2組(16km)を31得点し決勝に進んだ山内選手は、決勝(24km)で吉田選手(榛生昇陽高:奈良)と競り合って15得点し2位となった。(同上)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
自転車 4000m速度競走	第3位	H19.8.11	岡崎 祥伍 (岐南工高3年)		予選4組の3位で決勝に進んだ岡崎選手は力強い走りをみせ、元砂選手(榛生昇陽高:奈良)、飯塚選手(甲府工高:山梨)について3位入賞し、主将の意地をみせた。 (佐賀県武雄市:武雄競輪場)
自転車 スプリント	第3位	H19.8.11	田口 泰生 (岐阜第一高3年)		選抜大会全国2位の実績を持つ田口選手は、持ち味を生かした試合運びで勝ち進んだが準決勝で加藤選手(桜丘高:愛知)に敗れた。3位決定戦では溝口選手(明石商高:兵庫)に2-0で勝ち3位となった。(同上)
自転車 チーム・スプリント	第1位	H19.8.11	岐阜第一高 { 田口、森、 近藤		予選を2位で通過した岐阜第一高は決勝で作新学院高(栃木)と戦った。3年生の田口、森がよくリードし第3走者の近藤へつなぎ、相手チームの追い上げを僅か0.065秒差でかわして、悲願の初優勝を果たした。 (同上)
自転車 ケイリン	第1位 第3位	H19.8.11	近藤 龍徳 (岐阜第一高2年) 上田 隼 (岐南工高3年)		選抜大会で優勝した近藤選手は1・2回戦を2着で通過し、決勝へ進んだ。上田選手は1回戦4着となった。敗者復活戦から勝ち上がり、2回戦は1着通過した。県勢2人が進出した決勝は、近藤選手が終盤まで2・3着につけ、最後のスパートで勝負を決め、試合巧者ぶりをみせた。上田選手も3位入賞した。(同上)
自転車 トラック学校対抗	第2位 第3位	H19.8.11	岐南工高 岐阜第一高		岐南工高は4km団体追抜の優勝をはじめ6種目で入賞して33点を挙げトラック学校対抗、総合得点ともに2位となった。岐阜第一高はチーム・スプリント、ケイリンの優勝を筆頭に3種目の入賞で25点を挙げトラック学校対抗、総合得点で3位に入った。(同上)
自転車 総合得点	第2位 第3位	H19.8.12	岐南工高 岐阜第一高		

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
卓球 女子ダブルス	第3位	H19.8.13	富田高 { 中村 大野		2回戦で敗れた団体戦での雪辱を期し優勝を狙った中村・大野組は、抜群のコンビネーションで勝ち上がった。準決勝は尽誠学園高(香川)との戦いになり、相手エースを封じる作戦に出たが要所でミスが出て1-3で惜敗し、3位となった。 (佐賀県佐賀市：佐賀県総合体育館)
ボート 女子舵手つきクォドルブル	第1位	H19.8.12	加茂高 { 三輪、篠田、 田口、岡田、 横山		準々決勝で猿投農林高(愛知)との接戦を制し、決勝までの3レースを1着で通過し決勝へ進出した。決勝では中盤4クルーとも横並びの展開であったが、後半リズムをつかんだ加茂高は他のクルーを引き離し、最終的に2位の小浜水産高(福井)に4秒近く差をつけ、加茂高に同種目初の優勝をもたらした。 (佐賀県唐津市：松浦川ボートコース)
ボート 女子ダブルスカル	第1位	H19.8.12	恵那高 { 篠原 向井		予選、準々決勝、準決勝とパワフルなレース運びで他を寄せ付けず決勝に進出した。決勝でもスタートからリードを奪うと、中盤に風の影響で失速したもののそのままリードを譲らず、2位の膳所高(滋賀)を抑えて同種目の初優勝を遂げた。(同上)
ヨット 女子F J級ソロ	第1位	H19.8.20	海津明誠高B { 稲垣 高木		海津明誠高Bは2回戦で痛恨のスタート違反を犯し、24位まで順位を落とした。しかし、強気の攻めを続けて5・6回戦で連続1位となり、逆転優勝を飾った。海津明誠高A(松永・木ノ下)も堅実なレース運びで上位を保ち続けて4位入賞し、両ペアの合計で争われるデュエットの部の2年ぶりの優勝に貢献した。 (佐賀県唐津市：佐賀県ヨットハーバー)
女子F J級デュエット	第1位		海津明誠高		

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第24回全日本小学生 ソフトテニス選手権大会	第3位	H19.8.5	岐阜(男子) 安藤・堀(瑞浪小) 玉置・柴田(多治見小) 若井・島井(岐南小) 福岡・加藤(多治見小)		予選リーグを勝ち抜いた岐阜県代表チームは、宮城・大阪と連破し、準決勝で奈良と対戦したが力及ばず惜敗した。岐阜県勢は2年連続3位、7年連続入賞を果たした。 (群馬県前橋市：前橋総合運動公園テニスコート)
第57回 全日本実業団卓球選手権大会 (女子)	第2位	H19.8.5	十六銀行 西飯、田勢 潮崎、朱		3年連続6度目の優勝を狙う十六銀行は、決勝トーナメントでアスモ、日立化成に快勝してライバルの日本生命との決勝となった。接戦を予想してオーダーを組んだが、ストレートで敗れ連覇を逃した。 (群馬県前橋市：群馬県総合スポーツセンター)
第25回 全国ホープス卓球大会	第2位	H19.8.10	和田TTC (男子) 板橋 堀 田中		和田TTCは予選を3戦全勝で勝ち抜き、決勝トーナメントに進んだ。2回戦・3回戦・準決勝と3-2の接戦で制し、決勝は石田卓球クラブ(福岡)との対戦となった。相手エースに2勝を許し、準優勝となった。 (東京都渋谷区：東京体育館)
	第2位	H19.8.10	卓研ジュニア (女子) 加藤知 上野、白木 加藤杏		全日本選手権大会ホープスの部で3位のエース加藤知秋選手がシングルスで2ポイントを挙げ、その他で1ポイントを取るという内容で決勝に進出。決勝でも加藤選手が2ポイントを挙げたが、あと1ポイントが取れずに惜しくも2位となった。(同上)
第7回 アジアカデット選手権大会 (レスリング) 女子43kg級	第1位	H19.8.11	長沼 美香 (岐阜工高2年)		長沼選手は4月のJOC杯ジュニアオリンピックで優勝し、今大会の出場権を得た。5カ国からなるリーグ戦では1ゲームも失うことなく、全勝で初優勝を遂げ、日本の国別対抗優勝に貢献した。 (台湾・台中市：台中体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第16回 全日本新体操クラブ選手権 ジュニア個人総合	第1位	H19.8.14	横山 加奈 (NPOぎふクラブ) (羽島中3年)		横山選手は、得意のロープで大きく点差をつけるとダイナミックな演技でフープ、リボンでも1位を占め、ボールでこそ1位を逃したものの、総合で2位の小西選手(イオン)に3点以上の差をつけ初優勝を飾った。 (千葉県千葉市:千葉ポートアリーナ)
平成19年度 全国中学校体育大会 第37回全国中学相撲 選手権大会 個人	第3位	H19.8.19	伏見 光永 (長森中3年)		東海地区優勝の実績を持つ光永選手は準々決勝で後藤選手(西南部中:石川)を上手投げで破ってベスト4入り。準決勝では網谷選手(鳥取西中:鳥取)に押し出されて敗れ3位入賞となった。 (青森県十和田市:十和田市相撲場)
第34回全日本中学校陸上 競技選手権大会 女子 走幅跳	第2位	H19.8.21	村田 怜矢 (大垣東中3年)		村田選手は予選で5m47を記録し2位の成績で決勝に進出。決勝でも踏切の失敗を恐れずスピードを上げた。4本目では5m56を跳んで一時はトップに立ったが、その後は記録が伸びず2位となった。県勢は同大会走幅跳3年連続の入賞となった。 (宮城県利府町:宮城スタジアム)
男子 1500m	第2位	H19.8.23	浅岡 満憲 (古川中3年)		予選2組を1着4分3秒70で突破した浅岡選手は、決勝でも果敢に先頭争いに加わった。途中、やや先頭から後れをとるも粘り強い走りで見事2位に輝いた。(同上)
第38回 全国中学校卓球大会 男子団体	第3位	H19.8.21	長 森 中		予選Bブロックで圧勝し、順調に決勝トーナメントに進出した。東海大会個人3位の森岡選手がリズムを作って勝ち上がった。準決勝は千城台南中(千葉)から第1ゲームを取ったものの、その後3ゲーム連取され、惜しくも3位となった。 (青森県青森市:青い森アリーナ)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第38回全国中学校ソフト テニス大会 男子個人	第2位	H19.8.22	多治見中 ┌ 小栗 └ 小池		3月の都道府県対抗中学生大会で優勝した小栗・小池組は快調に勝ち上がり、2冠を目指した決勝戦では、原・能口組(藤田中:岡山)に2-4で敗れたが、県勢としては初の2位入賞となった。 (宮城県仙台市:泉総合運動場テニスコート)
男子団体	第1位	H19.8.23	多治見中 ┌ 小栗・小池 ├ 安藤・村井 └ 古越・佐藤		準決勝まではエースの小栗・小池組を2番手に起用して勝ち上がり、決勝では勢いをもって1番手で起用し先手をとった。2番手は競り負けたものの3番手がストレート勝ちし、3年越しの悲願の優勝を飾った。団体優勝は県勢初。(同上)
第38回全国中学校新体操 選手権大会 女子個人	第1位	H19.8.22	横山 加奈 (羽島中3年)		先の全日本クラブ選手権ジュニア個人総合で優勝して、波に乗る横山選手はフープでほぼパーフェクトの演技を披露した。ボールではミスがあったものの、追いつがる佐藤選手(南大分中:大分)を0.025差で退けて初優勝を飾った。(青森県弘前市:青森県武道館)
第47回全国中学校水泳競 技大会 男子100m平泳ぎ	第1位	H19.8.23	加納 雅也 (境川中2年)		予選3位の加納選手は決勝では積極的な泳ぎで先頭を守り、自己ベストを1秒以上縮める1分5秒17の好タイムで優勝した。(岩手県盛岡市:盛岡市立総合プール)
男子100mバタフライ	第2位	H19.8.23	安江 雄輔 (中山中3年)		予選を1着56秒57で通過した安江選手は、決勝でも良い泳ぎをみせたが、トップの大本選手(西京極中:京都)に僅かに及ばず2位となった。(同上)
第38回全国中学校柔道大会 女子70kg超級	第1位	H19.8.24	渡部 紫織 (伊奈波中2年)		準々決勝までの3試合を全て一本勝ちし、準決勝では井上選手(藍中:兵庫)に優勢勝ちを収めた。決勝では、長内選手(芳野中:富山)に早々に技を仕掛けて押さえ込み、開始から僅か37秒で合わせ技1本を奪い優勝を飾った。(山形県天童市:山形県総合運動公園総合体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第38回全国中学校柔道大会 女子57kg級	第3位	H19.8.24	藤田 風香 (瑞陵中3年)		藤田選手は粘り強い内容で2回戦から全て判定勝ちで準決勝まで進出した。準決勝では、武村選手(戸塚中：埼玉)に押さえ込まれて敗れ3位となった。 (山形県天童市：山形県総合運動公園総合体育館)
全日本大学選手権大会 ボート競技 男子舵手つきペア	第1位	H19.8.26	岐阜経済大 仲矢 久司 冨田		岐阜経済大は2年生2人と1年生1人の若いメンバーで臨み、予選では2着以下に大差をつけて決勝に進んだ。スタートから一気に差をつけ、落ち着いたレース運びで堂々と、同大のインカレ初優勝を飾った。 (埼玉県戸田市：戸田ボートコース)
女子舵手つきクォドルプル	第1位	H19.8.26	早稲田大 若井、玉川 内田、谷井 藤	若井 江利 (早稲田大3年) 加茂高卒	実力者の若井選手の乗る早稲田大のクルーは予選、準決勝と圧倒的な強さをみせた。決勝も立ち上がりから他を寄せ付けず完勝した。(同上)
第42回全国都道府県対抗 自転車競技大会 4000m団体追い抜き	第1位	H19.8.27	岐南工高 岡崎、高橋、 加藤、吉田		佐賀高校総体で優勝したメンバーがそのまま出場した。高校生だけのチームながら序盤から積極的なレース運びをみせ、終盤も更に加速する圧倒的な強さを発揮して、2位に8秒の差をつけて圧勝した。県勢はこの種目で4連覇を成し遂げた。 (大分県別府市：別府市営競輪場)